

316 人心構え学ぶ

中高生が夏の奉仕体験事前研修

57施設で実施へ

市内の中高生が夏休 23日、市立図書館・みに福祉施設などで取 中央公民館であり、参り組む「夏のボランティア体験」(市社会 構えや注意点を学んだ。福祉協議会、市ボラ

ンティア連絡協議会主 市社会福祉協議会の催)の事前研修会が 職員が活動の基本的な



市社会福祉協議会の職員(左端)の説明に聞き入る中高生

ポイントとして礼儀や身だしなみを挙げ「相手の気持ちを考え、コミュニケーションを大切にしよう」と呼び掛けた。仕事で知った個人情報や「SNS(会員制交流サイト)に投稿したり、他人に話したりしないようにして」と注意も促した。

福祉の仕事に携わる人から話を聞くコーナーでは、築港ごり保育園などを運営する岡山千鳥福祉会の八田早代保育担当課長が保育のやりがいを紹介。「保育士は体力仕事で大変だが、子どもの成長を間近で見られるのがうれしい」などと説明した。

生徒たちは最後に、受け入れ先となる高齢者施設や幼稚園、保育園などと訪問日時を調整した。市児童館で活動する玉野高2年斉藤瑠衣伽さん(16)は「小さい子どもと接することがあまりないので貴重な機会。進路を決める際の参考にしたい」と話した。

市内に在住、在学の333人が参加予定で、市内の57施設・団体が1日、1週間程度受け入れる。

(近藤哲也)

(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。